

経営比較分析表

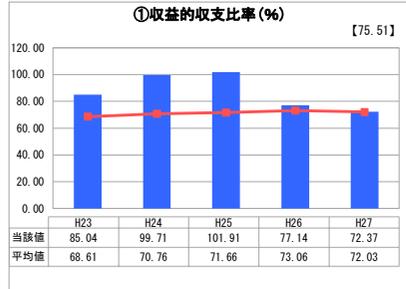
東京都 青ヶ島村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	100.00	4,744

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
166	5.96	27.85
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
160	0.45	355.56

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



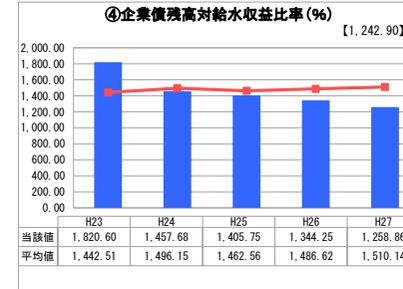
「単年度の収支」



「累積欠損」



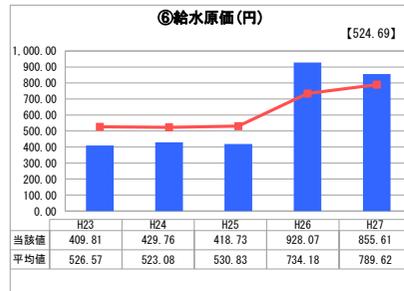
「支払能力」



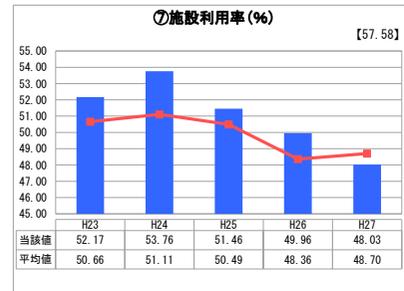
「債務残高」



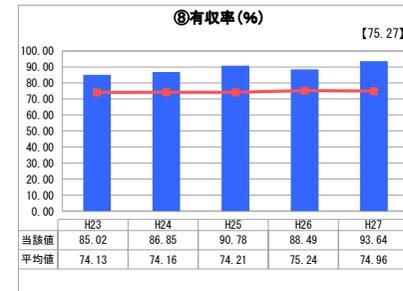
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

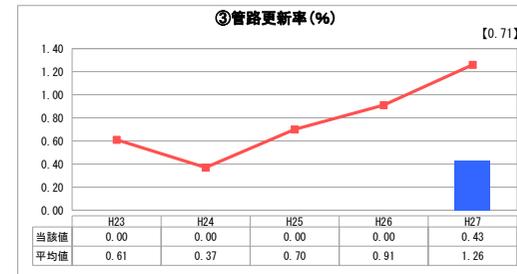
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率
平成26年度より貯水池耐震化事業を行っており、それにかかる調査委託料が増加したため低下した。
- ④企業債残高対給水収益比率
償還が進み、起債を行っていないため低下している。
- ⑤料金回収率
平成26年度より貯水池耐震化事業を行っており、それにかかる調査委託料が増加したため低下した。
- ⑥給水原価
平成26年度より貯水池耐震化事業を行っているため、給水原価が増加した。
- ⑦施設利用率
一日平均配水量が減少傾向にあるため、施設利用率も減少している。
- ⑧有収率
86%～93%と類似団体平均値を上回っているが、漏水調査等を行い適切な管路維持を行いたい。

2. 老朽化の状況について

- ③管路更新率
平成27年度に浄水場の導水管（延長22m）の更新を行ったため、0.43%となった。
塩害や強い風雨の影響により、施設の老朽化が進んでいる部分もあるが、機械設備類は極力使用していないため、日常のメンテナンスにより大規模な修繕を抑えている。

全体総括

人口が極端に少なく、かつ離島のため建設コストが高いことから、経営の健全性は高いとは言えない部分がある。
使用料も他の事業者と比較して割高となっている。
また、自然条件も厳しく、強風や塩害等により施設へのダメージが大きい。日常メンテナンスを行うことにより、大規模な修繕を抑えている。
平成26年度から平成32年度までの予定で、貯水池、導水施設の耐震化事業を行っているため、建設事業費が増加している。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。